阿知須町広報

No. 213　この広報紙は毎月1回各ご家庭にもれなく配布

昭和44年8月5日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
印刷 阿知須砂合よしの印刷

家庭にも体操を
役場で三つの体操

町役場では、健康増進のため午前十時と午後三時の二回その場でできる体操を行なっています。

この体操はだれにもできる簡単なもので、役場にとられたときに体操の曲が流れたら職員といっしょにしてみてください。そして皆さんの家庭にも、取り入れてみましょう。

今月の納税
町県民税の第二期分
国保保険税の第四期分

◇急停車されても良い距離よい速度
◇みんなで歩いているときもひとりひとりがよく注意

縄中房一さんに表彰状
百五十六人に感謝状を贈る
庁舎落成・二十二周年記念式典終る

新庁舎落成および町制二十二周年記念式典が、七月十五日、午前十時三十分から中尾町長をはじめ二百五十人の出席をえて、町議会議場において行なわれました。これより先、午前八時三十分から、中尾町長や町議会議員関係および町長をはじめ教育関係など、本町発展のために、ご尽力いただいた百五十五人、一事業所に中尾町長から感謝状が贈られ、十一時過ぎに式を閉じました。

そして岩倉、旦、浜表から威勢の良いかけ声とともに、庁舎の中に運びこまれたお餅を、午前と午後の二回に分けて、玄関前広場において、盛大に餅まきを行ないました。

一方、議会議場では、午後五時まで映画会を行なうほか、新庁舎の中を一般に公開しました。また夜には、新庁舎と阿小校の間を流れる井関川において、打ち上げ花火で、また赤、緑、だいだい色の三色を噴き上げる噴水で、夏の夜を楽しんでいただきました。

写真は中尾町長から表彰状を受ける縄中房一さん

新庁舎落成および町制二十二周年記念式典が、七月十五日、午前十時三十分から中尾町長をはじめ二百五十人の出席をえて、町議会議場において行なわれました。これより先、午前八時三十分から、中尾町長や町議会議員関係および町長をはじめ教育関係など、本町発展のために、ご尽力いただいた百五十五人、一事業所に中尾町長から感謝状が贈られ、十一時過ぎに式を閉じました。

そして岩倉、旦、浜表から威勢の良いかけ声とともに、庁舎の中に運びこまれたお餅を、午前と午後の二回に分けて、玄関前広場において、盛大に餅まきを行ないました。

一方、議会議場では、午後五時まで映画会を行なうほか、新庁舎の中を一般に公開しました。また夜には、新庁舎と阿小校の間を流れる井関川において、打ち上げ花火で、また赤、緑、だいだい色の三色を噴き上げる噴水で、夏の夜を楽しんでいただきました。

表彰状・感謝状を授与された人

（順不同、敬称略）

〔表彰状〕

縄中　房一　小東

〔感謝状〕

元町長関係

故　上重正一　岩上　故　兼定好太郎　西条　故　中川伸之進　郷北

町議会関係

竹本秋吉　砂三　松崎徳彦　浜表　大沢茂六　中村　中尾岩雄　浜　網重豊雄　郷南　中村林一　郷北　正司金蔵　浜　山本幸一　仙在　福永光治　野口　芳野茂人　恵比須　江本悦蔵　東　富野純照　恵比須　中谷大二　中村　河村与一　恵比須　工藤清夫　小西　田辺悦雄　岩西　河村金作　南祝　藤好孫一　旦北　河村菊熊　寺河内　重永武雄　浜　山根茂一　旦北　原田計之進　引野　西岡梅市　砂一　磯金清雄　西条　西村正夫　井関　藤田安治　河内　藤田康一　飛石　桜井武一　杖川　田中　博　岩西　武永耕輔　旦東　大浜　勇　西条　岩崎繁一　築地　益弘吾一　旦北　福永寛助　引野　伊藤敬南　旦北　古川辰夫　浜表　郷谷春海　郷南　岩村幸夫　郷南　藤村忠明　郷北　福永元吉　引野　岡本　守　杖川　重村三郎　旦北　藤野太助　砂三　水本富士男　井関　重村幸作　砂三　橋本宝作　小南　中野次介　引野　大村　勝　恵比須

水本忠雄　井関　中嶋精一　浜　田辺悦雄　岩西　伊東隆一　旦東　辻永一夫　岩辻　古谷軍一　飛石　田中元男　旦東　中国電力阿知須　菊本文男　寺河内　藤岡政一　岩西　出張所　／　故　福岡友仁　浜表　児玉三男　東　片山浩太郎　河内　故　兼重文一　寺河内　正司重徳　郷北　中田光人　西条　納税関係　橋本新一　小西　岩井久生　北祝　藤井富男　門松　教育文化関係　釈野徳章　引野　中尾正一　浜表　小林武男　飛石　藤岡　満　浜　故　岡村多四郎　北祝　故　細田　片山宥賢　河内　野上寛道　小西　安一東　故　長尾義一　岩前　伊藤文右三門　岩上　浅野忠雄　浜　故　小林京一　飛石　故　岡村百合　中野真琴　郷北　上野ナカ　岩上　故　兼重文一　寺河内　柏谷　静　西条　松本義明　小東　蔵　西条　故　兼重文一　寺河内　柏谷　静　西条　松本義明　小東　故　藤田若三郎　引野　故　片岡文　兼定　彰　西条　佐藤　勲　河内　之進　河内　故　伊藤博通　旦東　新井宗隆　寺河内　鈴木　彰　河内　故　中本武一　岩前　故　西山亀　江本フクヲ　寺河内　蔵　源河　故　中野伝左三門　岩前　三好正之　浜表　故　今井安三郎　東　故　竹重芳香　消防関係　門松　故　大沢謙之助　東　故　藤野恭平　寺河内　中尾定雄　南祝　井内　門松　故　辻岡春市　岩辻　竹原陽一　門松　上野芳香　岩上　須崎弥十　中村　兼重　隆　岡　公安関係　森重皆雄　杖川　故　徳田秀一　浜　佐藤北朗　井関　故　兼重文一　寺河内　故　今井安三郎　東　故　田中三郎　恵比須　社会福祉関係　産業関係　中尾定雄　南祝　重永治　浜

田辺悦雄　岩西　伊東隆一　旦東　田中元男　旦東　中国電力阿知須　菊本文男　寺河内　藤岡政一　岩西　出張所　／　故　福岡友仁　浜表　児玉三男　東　片山浩太郎　河内　故　兼重文一　寺河内　正司重徳　郷北　中田光人　西条　納税関係　橋本新一　小西　岩井久生　北祝　藤井富男　門松　教育文化関係　釈野徳章　引野　中尾正一　浜表　小林武男　飛石　藤岡　満　浜　故　岡村多四郎　北祝　故　細田　片山宥賢　河内　野上寛道　小西　安一東　故　長尾義一　岩前　伊藤文右三門　岩上　浅野忠雄　浜　故　小林京一　飛石　故　岡村百合　中野真琴　郷北　上野ナカ　岩上　蔵　西条　故　兼重文一　寺河内　柏谷　静　西条　松本義明　小東　故　藤田若三郎　引野　故　片岡文　兼定　彰　西条　佐藤　勲　河内　之進　河内　故　伊藤博通　旦東　新井宗隆　寺河内　鈴木　彰　河内　故　中本武一　岩前　故　西山亀　江本フクヲ　寺河内　蔵　源河　故　中野伝左三門　岩前　三好正之　浜表　故　今井安三郎　東　故　竹重芳香　消防関係　門松　故　大沢謙之助　東　故　藤野恭平　寺河内　中尾定雄　南祝　井内　門松　故　辻岡春市　岩辻　竹原陽一　門松　上野芳香　岩上　須崎弥十　中村　兼重　隆　岡　公安関係　森重皆雄　杖川　故　徳田秀一　浜　佐藤北朗　井関　故　兼重文一　寺河内　故　今井安三郎　東　産業関係　中尾定雄　南祝　重永治　浜

庁舎落成
町制二十二周年にあたって

町長　中尾　岩雄

新しい庁舎ができました。明治百年記念事業の一つとして昨年十一月に着工以来、多くの方のすぐれた技術と努力によってここに雄大な姿で誕生いたしました。これが阿知須町の行政の府です。町民の皆さま、建設に当って支援本当にありがとうございます。

新庁舎建設、それは遠かり九カ月の工期ではありましたが、それまで本町ではありませんでした。

この間、戦後の復興と諸制度の改革にさらには経済の著しい変ぼう に町政も先駆して地域開発に住民福祉のための施策をやらねばならぬ実情でありました。教育施設の充実、道路整備、福祉衛生面の施設の充実等、一個の団体としては、まりアジという鳥の住み地がありました。そこを鴨生原と呼び、ことから人家がふえていったといい伝えられています。新庁舎もその鳥を形どり、あたかも空へ向って羽ばたくようにデザインしてあります。本町としましては、これにあやかり、未来に向ってさらに雄飛したいと存じております。

これを機に職員ともども社会の奉仕者としての自覚を一層高め、町民の福祉と繁栄に貢献すべく覚悟を新たにしているところであります。

最後に、町発展のためにご尽力いただいた皆さん、これまでのご功績に対しまして深く感謝を捧げあわせて今後とも、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げる次第でございます。

（落成式および町制二十二周年記念式典式辞から）

五年、そして十九年に山口市と合併し、太平洋戦争の激戦期、さらに終戦をへて二十二年十一月二十三日、山口市から分離、独立して現在のような阿知須町になったのであります。それから二十二年、人間に例えますと、ちょうど大学を卒業する年令であります。幾多の体験を得、知識を吸収し、社会生活を営むための心の準備を整つ時期であります。

この間、戦後の復興と諸制度の改革にさらには経済の著しい変ぼう に町政も先駆して地域開発に住民福祉のための施策をやらねばならぬ実情でありました。教育施設の充実、道路整備、福祉衛生面の施設の充実等、一個の団体としては、まりアジという鳥の住み地がありました。本町は、その昔、小さな鴨、つまり数多くの問題を抱えてきました。

財政的にも苦しい時期がありました。本町は、そうした試練をへてきたのであります。

私たちが先月まで使用してきました建物は、明治十六年に建築し八十年の齢を数えていました。このため早くから改築を望む声も出されていたのでありますが、町政担当者としましては、町の発展に直接役立つ事業が先決だと考え、庁舎の建築は必要性を感じながらも、今日まで延期してきたわけであります。

お陰で、その後、各事業も順調に進み、財政的にも見通しがついたこと、さらには、明治百年といえばわが国の歩みに意義ある区切りを迎えたこともあって、この新庁舎建設に、踏み切った次第であります。

（落成式および町制二十二周年記念式典式辞から）

ありがとうございました
庁舎建設で各界から寄付

役場新庁舎建設にあたって、個人や団体、部落などの方面から多くのご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。紙上を借りて厚くお礼申上げます。

物品寄せについては庁舎内外に飾らせていただきました。現金は後日検討のうえ記念に残るようなものに使わせていただきます。

〔歓称略〕

〔部落〕

▽小東　三千五百円▽小西　六千五百円▽小南　六千七百円▽鴨生原　三万八千七百円▽東条　鐘乳石饅物△郷田　二万円▽西条　三万円▽寺河内　二万円▽砂合一区　一万円▽砂合二区　八千円▽砂合三区　二万円▽浜　六万九千円▽飛石　木▽岩倉　あお木（五万円相当）　あお木（五万円相当）および餅（一俵）▽旦　あお木（五万円相当）および餅（一俵）▽岡　一万五千五百円▽向井関　石燈ろう（五万円）▽赤迫　二万円▽野口　一万五千円▽杖川　ヒマラヤシダー（五万円相当）　源河　洋画額縁▽仙在　一万円▽青畑　三千円▽引野　梅（三万円）

〔個人〕

▽中村フチ　三千円　西田英一　五万円▽野村大象　五万円　▽古谷善正　十万円▽西村正作　一万円▽田辺悦雄　岩西　伊東隆一　旦東　中嶋精一　浜　辻永一夫　岩辻　古谷軍一　飛石　田中元男　旦東　中国電力阿知須　菊本文男　寺河内　藤岡政一　岩西　出張所　／　故　福岡友仁　浜表　児玉三男　東　片山浩太郎　河内　故　兼重文一　寺河内　正司重徳　郷北　中田光人　西条　納税関係　橋本新一　小西　岩井久生　北祝　藤井富男　門松　教育文化関係　釈野徳章　引野　中尾正一　浜表　小林武男　飛石　藤岡　満　浜　故　岡村多四郎　北祝　故　細田　片山宥賢　河内　野上寛道　小西　安一東　故　長尾義一　岩前　伊藤文右三門　岩上　浅野忠雄　浜　故　小林京一　飛石　故　岡村百合　中野真琴　郷北　上野ナカ　岩上　蔵　西条　故　兼重文一　寺河内　柏谷　静　西条　松本義明　小東　故　藤田若三郎　引野　故　片岡文　兼定　彰　西条　佐藤　勲　河内　之進　河内　故　伊藤博通　旦東　新井宗隆　寺河内　鈴木　彰　河内　故　中本武一　岩前　故　西山亀　江本フクヲ　寺河内　蔵　源河　故　中野伝左三門　岩前　三好正之　浜表　故　今井安三郎　東　故　竹重芳香　消防関係　門松　故　大沢謙之助　東　故　藤野恭平　寺河内　中尾定雄　南祝　井内　門松　故　辻岡春市　岩辻　竹原陽一　門松　上野芳香　岩上　須崎弥十　中村　兼重　隆　岡　公安関係　森重皆雄　杖川　故　徳田秀一　浜　佐藤北朗　井関　故　兼重文一　寺河内　故　今井安三郎　東　産業関係　中尾定雄　南祝　重永治　浜

▽東条　鐘乳石饅物△郷田　二万円▽西条　三万円▽寺河内　二万円▽砂合一区　一万円▽砂合二区　八千円▽砂合三区　二万円▽浜　六万九千円▽飛石　木▽岩倉　あお木（五万円相当）　あお木（五万円相当）および餅（一俵）▽旦　あお木（五万円相当）および餅（一俵）▽岡　一万五千五百円▽向井関　石燈ろう（五万円）▽赤迫　二万円▽野口　一万五千円▽杖川　ヒマラヤシダー（五万円相当）　源河　洋画額縁▽仙在　一万円▽青畑　三千円▽引野　梅（三万円）

〔個人〕

▽中村フチ　三千円　西田英一　五万円▽野村大象　五万円　▽古谷善正　十万円▽西村正作　一万円▽田辺悦雄　岩西　伊東隆一　旦東　中嶋精一　浜　辻永一夫　岩辻　古谷軍一　飛石　田中元男　旦東　中国電力阿知須　菊本文男　寺河内　藤岡政一　岩西　出張所　／　故　福岡友仁　浜表　児玉三男　東　片山浩太郎　河内　故　兼重文一　寺河内　正司重徳　郷北　中田光人　西条　納税関係　橋本新一　小西　岩井久生　北祝　藤井富男　門松　教育文化関係　釈野徳章　引野　中尾正一　浜表　小林武男　飛石　藤岡　満　浜　故　岡村多四郎　北祝　故　細田　片山宥賢　河内　野上寛道　小西　安一東　故　長尾義一　岩前　伊藤文右三門　岩上　浅野忠雄　浜　故　小林京一　飛石　故　岡村百合　中野真琴　郷北　上野ナカ　岩上　蔵　西条　故　兼重文一　寺河内　柏谷　静　西条　松本義明　小東　故　藤田若三郎　引野　故　片岡文　兼定　彰　西条　佐藤　勲　河内　之進　河内　故　伊藤博通　旦東　新井宗隆　寺河内　鈴木　彰　河内　故　中本武一　岩前　故　西山亀　江本フクヲ　寺河内　蔵　源河　故　中野伝左三門　岩前　三好正之　浜表　故　今井安三郎　東　故　竹重芳香　消防関係　門松　故　大沢謙之助　東　故　藤野恭平　寺河内　中尾定雄　南祝　井内　門松　故　辻岡春市　岩辻　竹原陽一　門松　上野芳香　岩上　須崎弥十　中村　兼重　隆　岡　公安関係　森重皆雄　杖川　故　徳田秀一　浜　佐藤北朗　井関　故　兼重文一　寺河内　故　今井安三郎　東　産業関係　中尾定雄　南祝　重永治　浜

（敬称略）

▽小東　三千五百円▽小西　六千五百円▽小南　六千七百円▽鴨生原　三万八千七百円▽東条　鐘乳石饅物△郷田　二万円▽西条　三万円▽寺河内　二万円▽砂合一区　一万円▽砂合二区　八千円▽砂合三区　二万円▽浜　六万九千円▽飛石　木▽岩倉　あお木（五万円相当）　あお木（五万円相当）および餅（一俵）▽旦　あお木（五万円相当）および餅（一俵）▽岡　一万五千五百円▽向井関　石燈ろう（五万円）▽赤迫　二万円▽野口　一万五千円▽杖川　ヒマラヤシダー（五万円相当）　源河　洋画額縁▽仙在　一万円▽青畑　三千円▽引野　梅（三万円）

〔個人〕

▽中村フチ　三千円　西田英一　五万円▽野村大象　五万円　▽古谷善正　十万円▽西村正作　一万円▽田辺悦雄　岩西　伊東隆一　旦東　中嶋精一　浜　辻永一夫　岩辻　古谷軍一　飛石　田中元男　旦東　中国電力阿知須　菊本文男　寺河内　藤岡政一　岩西　出張所　／　故　福岡友仁　浜表　児玉三男　東　片山浩太郎　河内　故　兼重文一　寺河内　正司重徳　郷北　中田光人　西条　納税関係　橋本新一　小西　岩井久生　北祝　藤井富男　門松　教育文化関係　釈野徳章　引野　中尾正一　浜表　小林武男　飛石　藤岡　満　浜　故　岡村多四郎　北祝　故　細田　片山宥賢　河内　野上寛道　小西　安一東　故　長尾義一　岩前　伊藤文右三門　岩上　浅野忠雄　浜　故　小林京一　飛石　故　岡村百合　中野真琴　郷北　上野ナカ　岩上　蔵　西条　故　兼重文一　寺河内　柏谷　静　西条　松本義明　小東　故　藤田若三郎　引野　故　片岡文　兼定　彰　西条　佐藤　勲　河内　之進　河内　故　伊藤博通　旦東　新井宗隆　寺河内　鈴木　彰　河内　故　中本武一　岩前　故　西山亀　江本フクヲ　寺河内　蔵　源河　故　中野伝左三門　岩前　三好正之　浜表　故　今井安三郎　東　故　竹重芳香　消防関係　門松　故　大沢謙之助　東　故　藤野恭平　寺河内　中尾定雄　南祝　井内　門松　故　辻岡春市　岩辻　竹原陽一　門松　上野芳香　岩上　須崎弥十　中村　兼重　隆　岡　公安関係　森重皆雄　杖川　故　徳田秀一　浜　佐藤北朗　井関　故　兼重文一　寺河内　故　今井安三郎　東　産業関係　中尾定雄　南祝　重永治　浜

（落成式および町制二十二周年記念式典式辞から）

〔法人団体〕

▽遺族会　一万円▽連合青年団　二万円▽更生保護婦人会　一万円▽青年同志会　三万円▽阿知須婦人会　二万円　二万五千円▽井関婦人会　二万円▽白菊会　六千円（うち浅田会長千円）▽商工会青年部　二万円▽つくし会　一万円

〔会社、事業所〕

▽若山産業KK　百万円▽酒業協同組合　三万円およびショロの木（二万円）▽防長久保田農機阿知須営業所　二千円▽宇部興産KK　五千万円▽正司石油店　一万円▽山口日産KK　五千円▽宇部不動産KK　二千万円▽宇部カントリー倶楽部　十五万円▽安田ゴルフ観光KK　芝生一千九百八十万円▽野村大象　五万円▽古谷善正　十万円▽西村正作　一万円▽田辺悦雄　岩西　伊東隆一　旦東　中嶋精一　浜　辻永一夫　岩辻　古谷軍一　飛石　田中元男　旦東　中国電力阿知須　菊本文男　寺河内　藤岡政一　岩西　出張所　／　故　福岡友仁　浜表　児玉三男　東　片山浩太郎　河内　故　兼重文一　寺河内　正司重徳　郷北　中田光人　西条　納税関係　橋本新一　小西　岩井久生　北祝　藤井富男　門松　教育文化関係　釈野徳章　引野　中尾正一　浜表　小林武男　飛石　藤岡　満　浜　故　岡村多四郎　北祝　故　細田　片山宥賢　河内　野上寛道　小西　安一東　故　長尾義一　岩前　伊藤文右三門　岩上　浅野忠雄　浜　故　小林京一　飛石　故　岡村百合　中野真琴　郷北　上野ナカ　岩上　蔵　西条　故　兼重文一　寺河内　柏谷　静　西条　松本義明　小東　故　藤田若三郎　引野　故　片岡文　兼定　彰　西条　佐藤　勲　河内　之進　河内　故　伊藤博通　旦東　新井宗隆　寺河内　鈴木　彰　河内　故　中本武一　岩前　故　西山亀　江本フクヲ　寺河内　蔵　源河　故　中野伝左三門　岩前　三好正之　浜表　故　今井安三郎　東　故　竹重芳香　消防関係　門松　故　大沢謙之助　東　故　藤野恭平　寺河内　中尾定雄　南祝　井内　門松　故　辻岡春市　岩辻　竹原陽一　門松　上野芳香　岩上　須崎弥十　中村　兼重　隆　岡　公安関係　森重皆雄　杖川　故　徳田秀一　浜　佐藤北朗　井関　故　兼重文一　寺河内　故　今井安三郎　東　産業関係　中尾定雄　南祝　重永治　浜

▽若山産業KK　百万円▽酒業協同組合　三万円およびショロの木（二万円）▽防長久保田農機阿知須営業所　二千円▽宇部興産KK　五千万円▽正司石油店　一万円▽山口日産KK　五千円▽宇部不動産KK　二千万円▽宇部カントリー倶楽部　十五万円▽安田ゴルフ観光KK　芝生一千九百八十万円▽野村大象　五万円▽古谷善正　十万円▽西村正作　一万円▽田辺悦雄　岩西　伊東隆一　旦東　中嶋精一　浜　辻永一夫　岩辻　古谷軍一　飛石　田中元男　旦東　中国電力阿知須　菊本文男　寺河内　藤岡政一　岩西　出張所　／　故　福岡友仁　浜表　児玉三男　東　片山浩太郎　河内　故　兼重文一　寺河内　正司重徳　郷北　中田光人　西条　納税関係　橋本新一　小西　岩井久生　北祝　藤井富男　門松　教育文化関係　釈野徳章　引野　中尾正一　浜表　小林武男　飛石　藤岡　満　浜　故　岡村多四郎　北祝　故　細田　片山宥賢　河内　野上寛道　小西　安一東　故　長尾義一　岩前　伊藤文右三門　岩上　浅野忠雄　浜　故　小林京一　飛石　故　岡村百合　中野真琴　郷北　上野ナカ　岩上　蔵　西条　故　兼重文一　寺河内　柏谷　静　西条　松本義明　小東　故　藤田若三郎　引野　故　片岡文　兼定　彰　西条　佐藤　勲　河内　之進　河内　故　伊藤博通　旦東　新井宗隆　寺河内　鈴木　彰　河内　故　中本武一　岩前　故　西山亀　江本フクヲ　寺河内　蔵　源河　故　中野伝左三門　岩前　三好正之　浜表　故　今井安三郎　東　故　竹重芳香　消防関係　門松　故　大沢謙之助　東　故　藤野恭平　寺河内　中尾定雄　南祝　井内　門松　故　辻岡春市　岩辻　竹原陽一　門松　上野芳香　岩上　須崎弥十　中村　兼重　隆　岡　公安関係　森重皆雄　杖川　故　徳田秀一　浜　佐藤北朗　井関　故　兼重文一　寺河内　故　今井安三郎　東　産業関係　中尾定雄　南祝　重永治　浜

設KK花びん（四万円）▽阿知須住宅協同組合　花びん（三万円）▽平山商会　十二インチ白黒テレビ▽山口銀行阿知須支店　十九インチカラーテレビ▽南信用金庫阿知須支店　二十インチ白黒テレビ▽福本電気通信　電池時計▽宇部興産KK　ワシントンヤシ（三万円）▽阿知須土木振興会雨量計　冷蔵庫　計十万円）▽野村電機商会　扇風機二台▽森重印刷所　一万円

台所からでるゴミは袋に包んで
ゴミは川や用水路に捨てぬよう

スイカの皮など一年中で一番ごみの多く出る季節です。暑い夏を少しでも快適に過ごしていただくため、また、きれいな阿知須町を築くためにも、次のことを守ってください。

(1)台所から出るごみは、水を切ってビニール袋などに入れて捨ててください。

(2)まだ、ごみを川や海に捨てられる方があるようです。ごみ箱まで遠いからといって、おっくうがらず必ずごみ箱へきちんと捨ててください。人の心を不愉快にするばかりでなく、伝染病の発生へとつながります。お互に注意しあいましょう。

(3)カンやビンは箱の中に入れないで、外へきちんとおいてください

(4)ごみを直接、岡山処理場へ運ばれるときは運搬中、車からおちないように工夫してください。

(5)スイカの皮を万年池水路などに捨てないよう自家処理をしてください。

犬はつないで飼いましょう
不用犬は指定日に役場へ

犬はつないで飼いましょう…と今までも幾度となくお願いしてきました。しかし最近、また犬の放し飼いが目立ち、××の犬にかまれた。鶏が犬にやられた…など犬による苦情はあとをたちません。飼い主の良識あるご協力によって犬による被害をなくしたいものです。

なお、不用犬がおりましたら、毎月24日（1日中）25日（午前10時まで）の両日町役場厚生課にご持参してください。

む やみやたらと捨てないで野犬撲滅にご協力願います。

心配ごとは
江本悦蔵さんへ

交通事故の相談も

世の中が進むにつれて、私たちの身辺には、いろいろな問題が起ります。もし、一人でこまっておられるような問題がありましたら人権擁護委員および行政相談員をされている江本悦蔵さん（東区）にお気軽にご相談してください。

たとえば、自動車事故によって被害を受けたとか、被害を与えたとか、また、一人で被害にあったとかいろいろなときにも、ご遠慮なくご相談ください。親身になってお世話されます。

なお、民事、刑事関係や、政治的なもの、また個人的な紛争問題は取り扱われません。

相談は無料で秘密は絶対守られます。

街のこぼれ話

時期は遅れたが、今もって人間味あふれる暖たかいお話からとゆ明神様の世話をされるKさんは次のように語られた。

去る六月の十七夜祭のときのこと。さい銭箱を開けた同社の役員が「ガマが入っていますよ」という。わずかなすき間からカエルが入るのはおかしいと思っていると「これですよ」といって赤いガマグチをさし出した。見ると部落名と名前が書いてあり、二千円ばかり入っていた。一応その人に当ってみると「実はどこかでなくしたものです」とのこと。「でもさい銭箱に入っていたのならもう神様にさし上げたものです。受けとるわけにはいきません」といわれた。だから私たちのその好意をうれしく受けてお宮のお金として扱わせていただきました…ということです。

それにしても拾ったお金を自分のものにせずにそのまま、さい銭箱に入れた人、それにもう受け取れないという落し主、ともに美しい心といってその人たち、感心されることしきり…。

家庭教育を勉強（母親・父親学級）

――時事問題など広い分野も（婦人学級）

社会教育の本山ともいえる町公民館では、日ごろからいろいろな学習講座を開いて好評をえておりますが、七月から新たに母親学級、婦人学級、父親学級の三学級を開いてお父さん、お母さん方に勉強していただいております。とくに、お父さん方の学級は、勤務の都合などで今まで開いておりませんでしたが、両小学校ＰＴＡなどの協力で勤務の終った夜七時三十分から勉強していただいております。

母親学級

この母親学級は、町教育委員会阿小校、井小校および両校ＰＴＡの共催で、七月二十五日から始まりました。

この学級で学んでいただいている人は小学校四年生までの児童をお持ちのお母さんで「家庭教育のあり方」などについて、十回、三十時間にわたって勉強していただきます。

この学級の開講式の模様を簡単に述べますと…。

当日は四十人が出席。中尾教育長は「みなさん方は偉大な教育者です。智恵のすぐれているのが人間の一生ではありません。心身ともに健康な子どもを育てることが大切です。この学級で子どもを育ててください」とあいさつされました。

続いて乗安井小校長によって、「家庭教育と母親の役割」と題して「子どもは親のいうとおりにはなかなかならないが、親の行動は、すべてまねをする傾向が強い。家族全員の行動によって指導するのが望ましい」など家庭教育における子どもの指導方法や教育における母親の服装をえなどについてお話しがあった。今後は「子どもの心理と性格」「子どもの社会性」など勉強していただきます。

婦人学級

この婦人学級は、町教育委員会が文部省から委嘱を受けて、阿知須、井関両婦人会の協力をえて、七月二十八日から始まりました。

この学級で学んでいただいている人は小、中学校の児童生徒をお持ちのお父さん方で「子どもをどのようにして見ればよいか」などについて、映画や教材から学んだり、講師や助言者を囲んで話しあったりして、八回、二十四時間にわたって、勉強していただきます。

当日は、勤務から帰られたお父さん方は疲れもみせず、三十人が出席され、熱心に乗安井小校長の「家庭教育と父親の役割」について勉強されました。

今後は「父と子の対話」「父親の理想像」「親の心子の心」など父親と子どもについて勉強していただきます。

父親学級

今までこのようなお父さん方の学級はありませんでしたが、町教育委員会、町内三校および両小学校ＰＴＡ、阿中校育友会の共催で七月三十一日、午後七時三十分から始まりました。

この学級で学んでいただいている人は小、中学校の児童生徒をお持ちのお父さん方で「子どもをどのようにして見ればよいか」などについて、映画や教材から学んだり、講師や助言者を囲んで話しあったりして、八回、二十四時間にわたって、勉強していただきます。

当日は、勤務から帰られた父親は疲れもみせず、三十人が出席され、熱心に乗安井小校長の「家庭教育と父親の役割」について勉強されました。

今後は「父と子の対話」「父親の理想像」「親の心子の心」など父親と子どもについて勉強していただきます。

（写真は楽しく熱心に勉強される お母さんたち…母親学級から）

教育のまど

八月ともなれば、夏休みもそろそろ中だるみといったところでしょう。どうせ休みだからと日やかさないで、起床や食事時間など生活のリズムを整え直したり、思いきって変えてみましょう。子どもたちの家事分担持ち場交代など…

さて、つくつく法師が、朝から鳴きたてると、夏休みもいよいよ終りに近づきます。

夏休みもあと十日とかになると、あれもやってない、これも残っているなど両親の兄姉たちも動員されて手伝いをする風景が見られます。せめて夏休みが一週間ぐらいというときまでには、勉強や工作などの目標をあらかじめ終らせるように指導してやりましょう。

もう二学期への休の調整、精神的な安定ということに重点をおいてゆったりとした気持で、新学期を迎えられるように、心をくばってやりましょう。

子どもさんの健康状態は、とくに体重、食欲、顔色などをよく観察してみてください。夏まけだろうくらいに片付けず、様子がおかしかったら、いまのうちに医者に診察してもらっておきましょう。

とくに休み中、毎日、水遊びでいつの間にか眼、耳、鼻を悪くしていることがありますから気をつけましょう。耳や鼻の治療は長びきますので、勉強にも影響します。

学用品の点検もしておきましょう。ノート、鉛筆などはそろそろ二学期の準備を…。

◇…◇…◇

助役に工藤　収入役に中尾　両氏を選任

新しい役場の新しい議会議場において、一回目の町議会が、七月八日午前九時から行なわれました。

当日は、ことしになって第二回目の臨時町議会で阿知須町助役の選任についてと、阿知須町収入役の選任についての二議案が上程され、両議案とも原案どおりあ決まりました。

助役の選任については…は、工藤助役を再び選任したい旨、熱行なわれました。

工藤助役

中尾収入役

議会が、七月八日午前九時から行なわれました。

当日は、ことしになって第二回目の臨時町議会で阿知須町助役の選任についてと、阿知須町収入役の選任についての二議案が上程され、両議案とも原案どおりあ決まりました。

助役の選任については…は、工藤助役を再び選任したい旨、熱行なわれました。

収入役の選任について…は同様に、同収入役を再び選任したい旨、執行部から提案理由の説明があり、これも原案どおり町議会の同意をえました。

農業委員会選挙は無投票

七月十五日執行の予定だった本町の農業委員会委員選挙は、定数十人に対して候補者十人となったため、結局無投票に終わりました。これから三年間、本町農業の振興計画をたて、実施したり、農地の交換分合などの仕事を行なっていただくことになりました。

当選された方は次のとおり。

（届け出順、敬称省）

中尾定雄　六十四歳　南　祝
田辺悦雄　六十八歳　岩　西
伊藤敬甫　五十三歳　旦　北
上野弘之　六十七歳　岩　辻
中村徳男　四十三歳　赤　迫
井本　学　六十四歳　岩　前
柳井喜一　五十七歳　引　野
竹原春一　五十八歳　日門松
国重常太郎　六十八歳　源　河
藤谷　馨　五十八歳　野　口

節水にご協力を……

…ふえる水道の使用量……

このところ暑さが続き、簡易水道の水の使用量がぐんとふえています。このため水源池のポンプを高い地域の家庭や大口需要家にご迷惑をかけることも起りがちです。

そこで水道をとっておられる方へのお願いですが、節水にご協力いただきますようお願いします。

時間帯には朝六時から八時ごろまで、夕方は四時ごろから七時半ごろまでが一日中で一ばん多く使用されています。

「私のうち一軒くらい使っても大して変りはないだろう」という気になら、逆に「自分のうち一軒だけでも節水しよう」という気でご協力いただければ幸いです。

水圧が下っています。したがって

母親・父親・婦人学級を開講

文部省委嘱婦人学級　八月十三日（水）
学習主題　食品の添加物
講師　山口短大西田ミツエ先生

八月二十二日（金）午後一時二十分
学習主題　栄養と体力づくり

八月二十八日（木）午後一時二十分
学習主題　子どもの社会性について
講師　両学級とも美東中学校長阿武好太郎先生

父親学級　八月十一日（月）午後七時三十分
学習主題　父と子の対話について

八月二十日（水）午後七時三十分
学習主題　父親の理想像
講師　公民館運営審議会委員片山春賢先生

※各学級の会場は、いずれも町役場会議室で行ないます。

吉敷郡体育大会　八月十日（日）陸上競技　秋穂中学校グランド
八月二十四日（日）球技　小郡中学校グランド
両日とも町役場前、午前七時三十分貸切りバスで出発します。

警察官募集　受け付期間　八月二十五日まで
受け付け場所　阿知須警察官派出所
試験日　八月三十一日（日）
試験場所　山口、宇部など六市町で行ないます。
学歴　学歴は問いませんが、高等学校以上の学力を必要とします。
年令　昭和十七年四月二日～同二十六年四月一日までに生まれた男子。ただし家春、高校を卒業見込みの人も含みます。

文部省委嘱婦人学級　八月十三日（水）
学習主題　食品の添加物
講師　山口短大西田ミツエ先生

八月二十二日（金）午後一時二十分
学習主題　栄養と体力づくり

八月二十八日（木）午後一時二十分
学習主題　子どもの社会性について
講師　両学級とも美東中学校長阿武好太郎先生

父親学級　八月十一日（月）午後七時三十分
学習主題　父と子の対話について

八月二十日（水）午後七時三十分
学習主題　父親の理想像
講師　公民館運営審議会委員片山春賢先生

※各学級の会場は、いずれも町役場会議室で行ないます。

母親学級　八月七日（木）午後一時三十分
学習主題　子どもの心理と性格

八月二十八日（木）午後一時二十分
学習主題　子どもの社会性について
講師　両学級とも美東中学校長阿武好太郎先生

父親学級　八月十一日（月）午後七時三十分
学習主題　父と子の対話について

八月二十日（水）午後七時三十分
学習主題　父親の理想像
講師　公民館運営審議会委員片山春賢先生

吉敷郡体育大会　八月十日（日）陸上競技　秋穂中学校グランド
八月二十四日（日）球技　小郡中学校グランド
両日とも町役場前、午前七時三十分貸切りバスで出発します。

警察官募集　受け付期間　八月二十五日まで
受け付け場所　阿知須警察官派出所
試験日　八月三十一日（日）
試験場所　山口、宇部など六市町で行ないます。
学歴　学歴は問いませんが、高等学校以上の学力を必要とします。
年令　昭和十七年四月二日～同二十六年四月一日までに生まれた男子。ただし家春、高校を卒業見込みの人も含みます。

▲五十四人が献血▲

七月十九日、県血液センターの献血車「白ばと号」が町役場前にお目見得し、愛の献血を呼びかけました。

当日は、七十人が献血を希望されましたが、血液の比重が不足しているなど血圧の低いなどがあり、結局五十四人から愛の血液が寄せられました。

一人当りの献血量は、牛乳ビン一本分よりやや多い二百cc で、当日は一万八百cc もの暖かい愛の血液が寄せられ、さっそく病床でこまっておられる人たちに届けられ感謝されました。

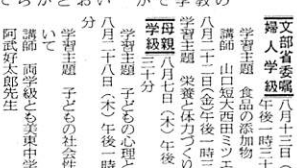
（写真は役場での献血風景）

▲砂飛チーム優勝▲

第十九回町内親ぼく野球大会は炎天下の七月二十日、中学校グランドにおいて熱戦を展開。優勝戦には、予想どおりＡコートから砂飛、Ｂコートから四年連続優勝を目指す小古郷の両チームが進出。

この結果、砂飛チームが第十五回大会以来、久しぶりに真紅の大優勝旗を掌中に収めました。

優勝戦　砂飛四－二小古郷
三位決定戦　赤浜四－三中西



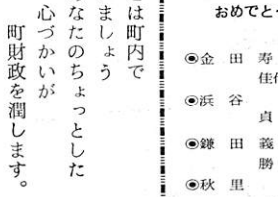
（写真は優勝した砂飛チーム）

▲短歌の講習会▲

阿知須短歌会では、七月十三日元短歌誌なぎ主宰、友広保一先生を町役場料理教室にお招きして、短歌の講習会を行ないました。

当日は、町内の短歌愛好者をはじめ宇部市から出席されるなどなかなかの盛況。前もって提出された作品を読みとげ、一つ一つ熱心に批評しあいながら勉強されました。

（写真は友広先生を招いて勉強しあう短歌会）



第3回阿知須短歌会詠草

順不同

砂一　松代　一郎　原田　英子
新庁舎の屋上にわがあげし旗朝を静かにはためきはじむ

西条　柏谷　静
のぎを焼く煙立ちこめし川の面を満ち潮の泡ゆつくりのぼる

浜　正司ろめの
健やかに生きて来しかな古稀ちかくなりて今年の早苗取り居る

寺河内　兼重　きぬ
苗標みし軽四輪の並びいる農道挨みて田植盛れり

砂三　藤永ミツノ
梅雨晴れの浜は静かなり枯木拾う人の姿の遠くに見えて

小西　磯山　朝子
職辞して野良の仕事に懸命の老たる父の陽焼け目にたつ

編北　潮崎　一雄
植え終えし稲は豪雨に覆われて離島の如くわら家灯りぬ

北祝　隅田美智子
田植えに疲れし老母ヒタ風の涼き縁でマッサージ器当つ

西条　磯中　靖子
梅雨さき時折りのぞく青空より光は満れし竹群に射す

小西　磯山　直子
梅雨晴れの浜は静かなり枯木拾う人の姿の遠くに見えて

北祝　部坂　秩子
幾年か大切にせし象牙のネックレス思い切りて数珠に変えたり

砂一　田村　艶子
一年に一度古き機具を出してうち中一献の麦ぐ

飛石　砂村ヤス子
叱られしこともあると姉妹職場のことを夜話しをり

編北　藤井　明子
蕗の葉にとまるの青き蛍火の露にいちごの実二三つのる

砂三　渡辺　宮子
幼な子の掌みを秘めし折鶴も雨にゆられて七夕は更ける

西条　原田　陽子
フィリッピンに戦犯として散りし人の命日に来て祭の草抜く

岩西　中本　幸枝
海底に水の日を耐えひたすらに真珠を育てて貝よいとほし

北祝　部坂　秩子
河尻の海に破れ舟一隻あり干潟と幾年か大切にせし象牙のネックレス思い切りて数珠に変えたり

岩上　上重　朝子
幼な子の掌みを秘めし折鶴も雨にゆられて七夕は更ける

砂一　田村　艶子
一年に一度古き機具を出してうち中一献の麦ぐ

飛石　砂村ヤス子
叱られしこともあると姉妹職場のことを夜話しをり

西条　原田　陽子
小車を盗みと踏みし道の草ほのかなる薄荷のにおい立たりけり

浜　石田サダ子
熱高き吾子とならびて寝ぬ部屋にベンケイガニの磨歩く音

南祝　藤井　明子
畦道を走り行く子の手のひらに野いちごの実二三つのる

飛石　藤重　幾代
目に乾く漁網の臭く合田小浜道はなだらかに浜に下れり

浜　是枝　英雄
観光バスの埃かぶりし屋根続き平家家人の部落ひそまる

北祝　大野キヌエ
一つふえし薬袋を渡されて心重たくスリッパを脱ぎいつ

旦北　蓙弘喜久子
指ついて一字一字を読むなら孫への便り筆太に書く

▽　△　▽

次回は八月九日（土）午後七時三十分から兼重きぬさん宅で行ないます。

慶弔録

婚姻

おめでとうございます
この喜びをいつまでも

◎金田寿一　佳代子（旧姓野原）　編南　美祢市伊佐町
◎浜谷清貞　子（旧姓福井）　小南　仙在
◎鎌田義勝　則美（旧姓西村）　東　宇部市神宇部
◎秋里隆由紀子（旧姓松田）　小野田市東高泊　小南
◎網重保澄　蔵子（旧姓山口）　編南　長崎県東波痒郡
◎生利俊周　二子（旧姓磯部）　宇部市西岐波　中村

出生

おめでとうございます
ご健康をお祈りします

父の氏名	続柄	子の名	生年月日	部落
久保田睦男	長男	弘	6.28	引野
編本 信夫	長男	和夫	7.1	小西口
藤谷 高鑑	長男	朋宏	7.5	野口
中村 信夫	長男	信吾	6.29	赤迫
大和 敏夫	3男	好一	7.10	南祝
磯部 勝	長女	和枝	7.15	飛石

死亡

おくやみ申し上げます

氏名	死亡年月日	年令	部落
山内 光造	7.12	67	寺河内
岸本 宗資	7.19	68	西条